

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

ろうきんの基本姿勢

目的

ろうきんは、
はたらく仲間がつくった
福祉金融機関です。

ろうきんは労働組合や生活協同組合のはたらく仲間が、お互いを助け合うために、資金を出し合っ
てつくった協同組織の金融機関です。

運用

ろうきんは、
生活者本位に考える
金融機関です。

ろうきんの業務内容は、預金やローン・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりません。しかし、資金の運用がまったく違います。はたらく人たちからお預かりした資金は、はたらく人たちの大切な共有財産として、住宅・結婚・教育資金など、はたらく仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。

運営

ろうきんは、
営利を目的としない
金融機関です。

ろうきんは労働金庫法というルールにもとづいて、非営利を原則に公平かつ民主的に運営されています。

ろうきんの事業運営3原則

労働金庫法第5条には、

ろうきんの事業運営3原則

「非営利の原則」

「会員に対する直接奉仕の原則」

「政治的中立の原則」

が定められています。

当金庫では、この3原則にもとづき中期計画および年度事業計画等を策定して事業を運営しています。



静岡ろうきんの概要 (2026年3月末)

本店所在地
静岡市葵区黒金町5番地の1



創 立
1953年3月1日

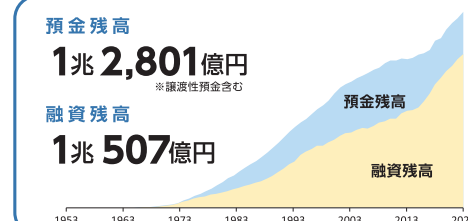


出 資 金
38 億円



店 舗 数 (インターネット静岡支店含む)

26 店舗



団 体 会 員 数

2,162 会員

間 接 構 成 員 数

579,340 人



く る み 人 取 得



健康経営優良法人2026認定
(大規模法人部門)



ごあいさつ

平素より、私ども静岡県労働金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、本年もデイスクロージャー誌「静岡ろうきんレポート」を作成いたしました。多くの皆さまにご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

中期計画『en縁』(2024-2026年度)の中間年度となる2025年度は、“グッドマネーの循環”の着実な拡大を通じてはたらく人とその家族・地域の人びととの「縁」をさらに浸透させ、ご利用の皆さまのしあわせづくりを実現するべく「ろうきん運動」の推進に取り組んでまいりました。長期化する物価高や不安定な世界情勢、「金利のある世界」への本格移行による競争激化など、先行き不透明な厳しい環境の中においてもろうきんファン拡大に向けた多くの運動項目で目標を達成することができま

したのは、ろうきんの理念に共感いただく運営委員会や会員の皆さまの格別のご理解とご協力の賜物であり、改めて感謝を申し上げます。

金融業界においては、貯蓄から投資への流れや利上げによる預金獲得競争の更なる激化、AIをはじめとしたデジタル技術の革新による顧客ニーズ・金融サービスの変容、複雑・巧妙化する金融犯罪やマネー・ローンダリングへの対策など、さまざまな課題への対応が求められていますが、こうした目まぐるしい環境下にこそ変化への柔軟性と福祉金融機関としての役割発揮の両輪が重要性を増すと認識しています。時代に合わせツールや手法の最新化を図るのはもちろんのこと、「ろうきん運動」の根幹である会員・運営委員会と職員が一体となった取り組みや福祉事業団体との連携等を通じて、金融事業のみならずはたらく人とその家族が直面する生活上の悩みや困りごとの解決に向けた支援を行うなど、“つながり”や“寄り添い”といった付加価値を大切にした事業運営を志向することで、ろうきんの存在価値をより確かなものにしていく所存です。

当金庫は、今後も助け合いによる資金の循環、すなわち“グッドマネーの循環”を柱とした活動にこだわり、はたらく人とその家族にとって唯一無二の存在となれるよう役職員一丸となって「ろうきん運動」の輪を拡げてまいりますので、引き続き皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年7月

理事長

増田泰孝